

# ヨコレイ NOTE VOL.14

第68期中間報告書  
(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

ごあいさつ・財務ハイライト P1

What's ヨコレイ VOL.3 P2  
最適な保管環境 編

営業の概況・事業別の概況 P3

中間連結財務諸表(要約) P4

会社情報 P5

シリーズ企画 P6  
世界の食事情③ 食品市場の動き

食卓に毎日、「食の安全・安心」を



## 「人」に「もの」に「地球」に “優しい” 食品流通のエキスパート

株主の皆さまにおかれましては、日頃のご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

第68期中間期(平成26年10月1日から平成27年3月31日まで)の経営環境は、輸出関連企業をはじめとした企業収益や雇用環境に改善が図られているものの、個人消費の回復は鈍く、景況の見通しはいまだ不透明です。当社グループが係る食品関連業界でも、消費の回復が遅れる中、円安や原材料高騰などの影響により、総じて厳しい事業環境となっています。

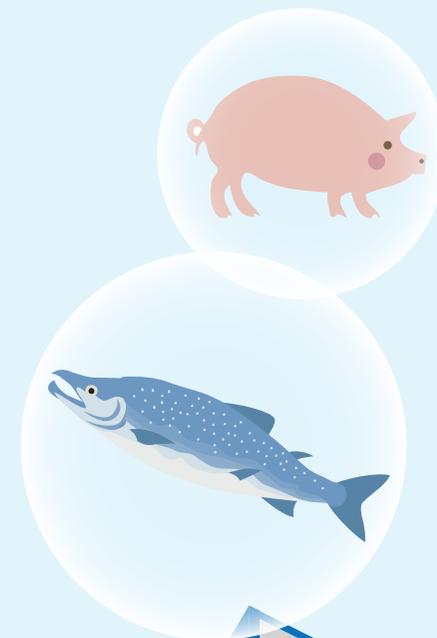
冷蔵倉庫事業では、新設物流センターの減価償却費や立ち上げ時の諸経費等が増加する中、第五次中期経営計画の主要戦略の推進に注力し、当期中の計画通りに推移しました。

食品販売事業では、高値推移していた主力商材の市場価格が徐々に軟化し、さらに急激な円安が重荷となる大変厳しい環境の中での事業展開となりました。

当社グループは、平成26年10月にスタートさせました第五次中期経営計画「Flap The Wings 2017」(3ヵ年)に基づき、冷蔵倉庫事業では「COOL」ネットワークのリーディングカンパニーを目指し、食品販売事業では「安定的な利益追求を基本としながらも、強みのある商材を全社的に展開する」ことを命題として、事業運営方針の各施策に注力しています。

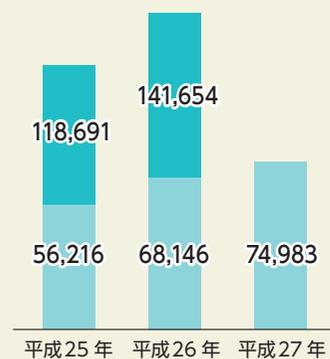
株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **吉川 俊雄**

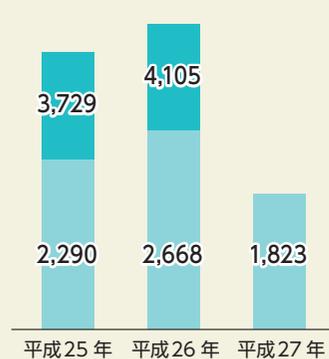


### 財務ハイライト

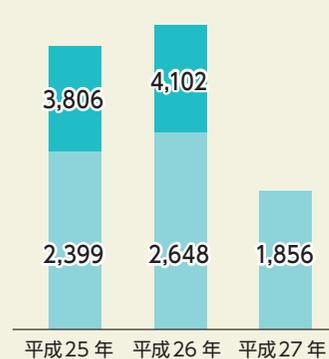
売上高 (百万円)  
■ 中間 ■ 通期



営業利益 (百万円)  
■ 中間 ■ 通期



経常利益 (百万円)  
■ 中間 ■ 通期



中間(当期)純利益(百万円) /  
1株当たり当期純利益(円)  
■ 中間 ■ 通期 ● 1株当たり  
当期純利益



# 高品質な低温物流サービスでお客様の期待に応える

## 《時代の先を行くヨコレイの冷蔵冷凍設備》

お客様からお預かりした商品の品質を損なうことなく、長期にわたり保管できる設備。それが冷蔵倉庫に求められる条件です。私たちヨコレイは、冷却システムやフードディフェンス、物流機能において、常に最新の技術を取り入れ、ベストな保管環境と品質を提供しています。これからもお客様の信頼と期待に応えるとともに、「食の安全・安心」を守り続けていきます。

### 「ヨコレイ品質」を象徴する 自然対流冷却方式

温度の変化が極めて少なく、長期の品質保持に最適な天井へアピコイルによる自然対流冷却方式を採用。その長所を受け継いだリターンダクト (RD) 冷却方式、次世代の冷却システムとなるノンドライ冷却方式「SittoryD1」の導入も進めています。



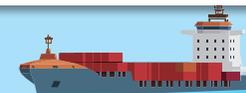
### ハードとソフトの両面で フードディフェンスを徹底

ハード面では、全物流センターに全方位・定点カメラとICカード認証による入退館管理システムを設置し、厳格な防犯体制を構築。ソフト面では、施設管理規定を明確化した上で、社員教育を通じて「食の安全・安心」を守る意識を浸透させています。



### 暖気や塵埃の侵入を防ぐ 陽圧式低温プラットフォーム

プラットフォーム内の空気圧を高めることで、外部からの暖気や塵埃、虫などの侵入を防止しています。また、冷却器の排熱を除湿に利用する「ハイブリッドデシカント陽圧システム」の導入も進め、品質保全と同時に環境対応に努めています。





## 営業の概況

### 当中間期の概況

食品関連業界は、消費の回復が遅れる中、円安や原材料高騰などの影響によりメーカーや小売業の値上げの動きがあるものの、総じて厳しい事業環境で推移。

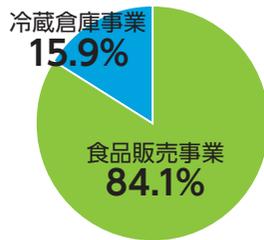
冷蔵倉庫事業は、新設物流センターによる減価償却費の大幅増加や立ち上げ時の経費等を織り込み、計画通りに進捗。

食品販売事業は、高値推移していた主力商材の相場が軟化する中、急激な円安により輸入コストが上昇し、利益率が大きく低下。

### 事業別売上高構成比

当中間期（平成27年3月期）  
売上高合計

**74,983**百万円



### 今期の見通しと業績予想

冷蔵倉庫事業は、下半期も引き続き好調を維持し、新物流センターの収益貢献等により、経費増を吸収する見込みです。食品販売事業は、強みのある商材を全社的に展開していくことで、利益の回復を図ります。

通期の連結業績については、以下の通り予想します。

売上高	1,436億3千万円
営業利益	44億円
経常利益	42億6千万円
当期純利益	25億円
1株当たり当期純利益	48円31銭

## 事業別の概況

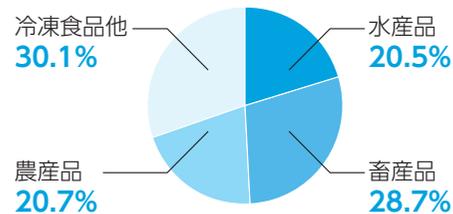
### 冷蔵倉庫事業

中期経営計画に基づき「保管・物流拠点化」「全国ネットワーク化」を推進。入庫取扱量は前年同期比で約11千トン増加、出庫取扱量は同約9千トン増加。平均保管在庫量は同6.3%増。

タイヨコレイ(株)は、ワンノイ物流センター2号棟の減価償却費等の経費増加により減益。当センターはフル稼働状態。

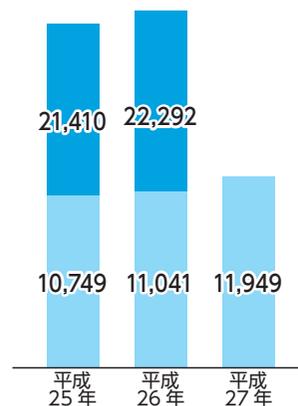
売上高11,949百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益2,539百万円(同11.2%減)の増収減益。当期中計画どおりに推移。

### 当中間期在庫量品目別割合



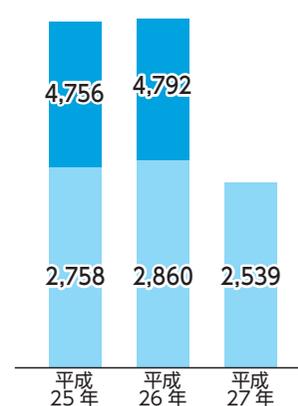
### 売上高

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



### 営業利益

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



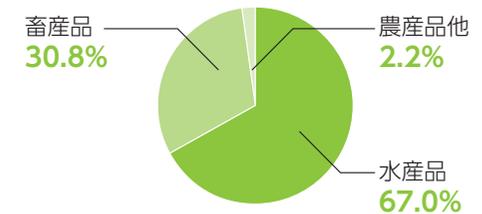
### 食品販売事業

水産品は、総じて相場に軟化の兆候が見られ、優位性のある食材については積極的に推進し、不安定なものは極力抑制するなど、メリハリをつけた商売を展開したものの、増収減益。

畜産品は、ポークの需給バランス悪化と利益率低下などにより、増収減益。農産品は、天候不順で取扱いが減少し、減収減益。

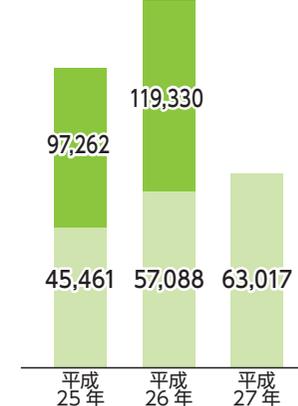
売上高63,017百万円(前年同期比10.4%増)、営業利益263百万円(同65.2%減)の増収減益。計画比で利益は未達。

### 当中間期品目別売上高構成比



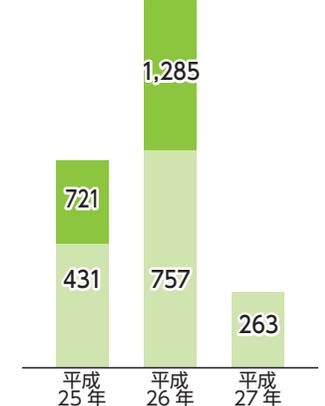
### 売上高

■ 中間 ■ 通期 (百万円)



### 営業利益

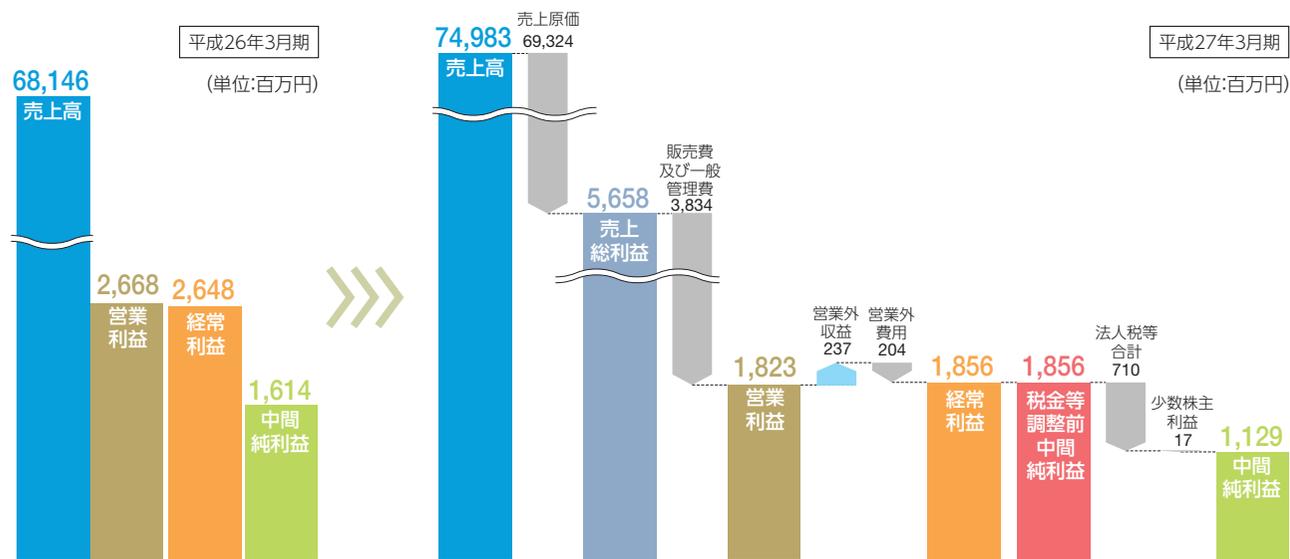
■ 中間 ■ 通期 (百万円)



# 中間連結財務諸表(要約)

## 中間連結財務状況

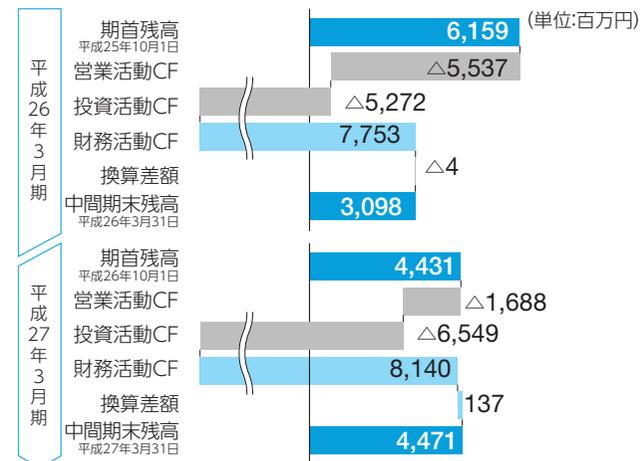
### ◆ 損益の状況



### ◆ 資産・負債・純資産の状況

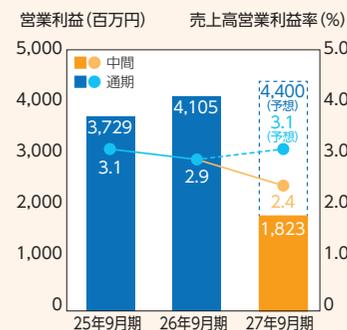


### ◆ キャッシュ・フローの状況



## POINT 1 利益率を挽回し、さらなる収益向上

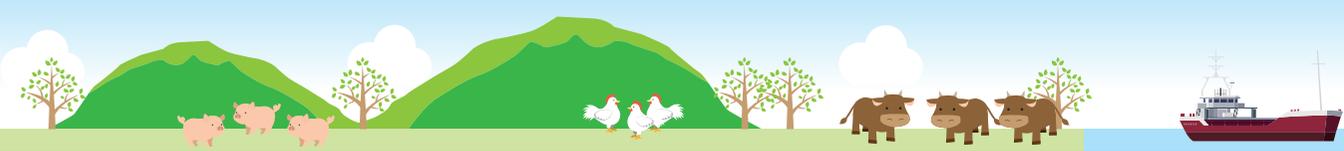
営業利益率は平成24年9月期の1.0%から反転し、平成25年9月期は3.1%、平成26年9月期は2.9%を維持しました。当中間期は、費用の増加と食品販売事業の減益により低下しておりますが、下半期の挽回を目指します。



## POINT 2 成長投資によるキャッシュ・フローの状況

物流センターの新設を中心とする近年の成長投資により、当中間期における投資活動に使用した資金は、6,549百万となりました。この結果、前期に引き続き、投資活動CFが資金流出となり財務活動CFによる資金調達を行いました。





## 会社概要 (平成27年3月31日現在)

会社名 横浜冷凍株式会社

本社所在地 〒220-0012  
横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号  
みなとみらいブランドセントラルタワー7階  
TEL: 045-210-0011 (代表)  
FAX: 045-210-0018

設立 昭和23年5月13日

資本金 11,065,926,625円

従業員数 連結 1,308名 単独 1,008名

業務内容

1. 冷蔵倉庫業並びに普通倉庫業
2. 水産品の加工、販売並びに輸出入
3. 農畜産物の加工、販売並びに輸出入
4. 不動産賃貸業
5. 通関業
6. 貨物利用運送事業並びに貨物自動車運送事業
7. 食堂及び喫茶店の経営並びに飲食物の販売
8. その他前各号に付帯関連する一切の事業  
(定款における事業目的)

## 役員および執行役員 (平成27年3月31日現在)

代表取締役社長	吉川 俊雄	監査役	棚橋 栄蔵
常務取締役	岩淵 文雄	監査役	西元 徹也
常務取締役	水野 隆明	上席執行役員	中西 啓文
取締役	井上 祐司	上席執行役員	大久保 孝一
取締役	千田 重賢	執行役員	岩倉 正人
取締役	飯島 敏正	執行役員	畑山 敬二
取締役	西山 敏彦	執行役員	竹村 文男
取締役	越智 孝次	執行役員	野崎 博嗣
取締役	松原 弘幸	執行役員	池田 浩人
常勤監査役	田中 明彦	執行役員	藤五 俊治
常勤監査役	阿部 博康	執行役員	花澤 幹夫

## ネットワーク (平成27年3月31日現在)

### 冷蔵倉庫事業 43拠点

**北海道ブロック**  
石狩物流センター  
石狩第二物流センター  
喜茂別物流センター  
十勝物流センター  
十勝第二物流センター

**圏央・東北ブロック**  
八戸物流センター  
気仙沼冷凍工場  
仙台物流センター  
加須物流センター  
加須第二物流センター  
鶴ヶ島物流センター  
伊勢原物流センター

**京浜ブロック**  
東京物流センター  
東京第二物流センター  
大黒物流センター  
横浜物流センター  
子安物流センター  
山内物流センター

**中京・東海ブロック**  
小牧物流センター  
名古屋物流センター  
中川物流センター  
沼津物流センター  
大井川物流センター

**阪神ブロック**  
夢洲物流センター  
北港物流センター  
西淀物流センター  
舞洲物流センター  
神戸物流センター  
六甲物流センター

**九州ブロック**  
福岡物流センター  
箱崎物流センター  
鳥栖物流センター  
鳥栖第二物流センター  
唐津冷凍工場  
長崎冷凍工場  
佐世保冷凍工場  
都城物流センター  
都城第二物流センター  
鹿児島物流センター  
志布志物流センター  
川辺物流センター  
枕崎冷凍工場  
山川冷凍工場

### 食品販売事業 21拠点

**北海道水産事業部**  
**東北水産事業部**  
東北水産事業部(仙台)  
八戸営業所  
気仙沼冷凍工場

**九州水産事業部**  
九州水産事業部(福岡)  
長崎営業所  
唐津営業所  
松浦営業所  
鹿児島営業所  
佐世保冷凍工場  
枕崎冷凍工場

**東京営業部**  
東京営業部  
横浜営業所  
沼津営業所

**水産原料部**  
茨城営業所  
銚子営業所  
名古屋営業部  
大阪営業部  
海外事業部  
畜産事業部  
農産事業部(十勝)

**連結子会社**  
株式会社アライアンスシーフーズ  
株式会社クローパートレーディング  
Thai Yokorei Co.,Ltd.(タイ)  
ワンノイ物流センター  
ワンノイ物流センター2号棟  
バンパコン物流センター  
サムロン物流センター  
Best Cold Chain Co.,Ltd.(タイ)

### 非連結子会社

Yokorei Co., Ltd.(タイ)

## 株式の状況 (平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 160,000,000株

発行済株式の総数 ..... 52,450,969株

株主数 ..... 13,546名

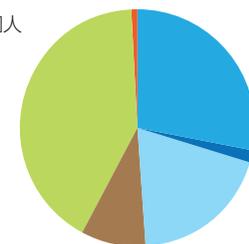
### 大株主(上位10名)

大株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	2,205	4.23
株式会社横浜銀行	2,176	4.17
農林中央金庫	1,473	2.82
株式会社八丁幸	1,411	2.70
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,179	2.26
横浜冷凍従業員持株会	1,158	2.22
株式会社松岡	1,034	1.98
株式会社サカタのタネ	1,022	1.96
横浜振興株式会社	892	1.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	858	1.64

(注) 持株比率は自己株式(331,967株)を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況

■ 金融機関 14,829千株 <b>28.3%</b>	■ 外国法人・外国人 4,587千株 <b>8.8%</b>
■ 金融商品取引業者 773千株 <b>1.5%</b>	■ 個人・その他 21,785千株 <b>41.5%</b>
■ その他の国内法人 10,142千株 <b>19.3%</b>	■ 自己名義 331千株 <b>0.6%</b>



## 食材価格の高騰は、なぜ起きている？

このところ我が国では食料品の販売価格や外食のメニュー価格が上昇傾向にあります。

その背景にあるのは、言うまでもなく「食材」そのものの価格高騰です。

一体、いま何が起きているのでしょうか。

### ■さまざまな要因が絡み合う食材価格の形成

食料品の価格変動は世の中に広く影響をおよぼし、その性質上、私たちの食生活を左右する社会現象へと発展する可能性を含んでいます。実際、近頃は食料品販売大手や外食チェーン店が続々と値上げを発表するなど、食材価格の高騰による市場変化が目に見えてきています。

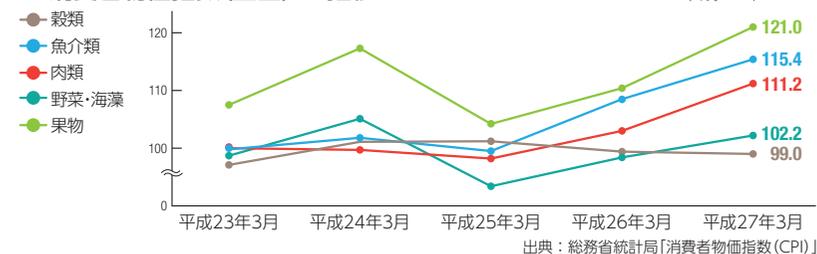
食材価格の高騰はなぜ、どのように起こるのでしょうか？

国内の状況から見ていくと、近年の政策効果によってデフレ脱却に向かう中、コスト転嫁が進んでいると言えます。その中で円安の進行による上昇分も、輸入依存度が高い食材の価格高騰に影響を与えています。

一方で海外の生産地に目を向けると、当然ながら全体の生産量が価格に影響します。気候変動による不作や不漁だけでなく、家畜の疫病など、供給不足が価格上昇を引き起こします。例えば、



### ■消費者物価指数(全国)の推移



昨年来の米国産牛肉の急騰は、干ばつの影響で牛の餌となる干し草や穀物が不足したことが原因です。

また、21世紀に入って顕著となっているのが、新興国の生活水準向上による影響です。肉や乳製品の消費が増える中間層が拡大し、食材をめぐる世界的な争奪戦が生じているのです。

このような、さまざまな価格高騰要因に囲まれる中で、食料を安定的に確保していくためには、グローバルな視野と生産国との関係強化が、今後ますます重要になるでしょう。

## 携わった食材が身近に流通する仕事。 「オーダーを断らない」が私のポリシーです。

私は2009年に入社し、昨年からは東京営業部横浜営業所に勤務しています。仕事の内容は、地域のレストランやお弁当屋さんなどエンドユーザーからの注文受付や、営業マンのサポートを行う窓口業務です。毎日、お客様から受け付けたオーダーを随時処理し、配送請負業者にピッキング・出荷の指示を出していきます。営業所では、エビ・鮭などの水産品をはじめとして、畜産品や冷凍食品まで多岐にわたる食材を取り扱っていますが、在庫がないものやイレギュラーな食材の注文に対しては、営業マンに連絡し、仕入れてもらいます。

こうした日々の仕事と並行して打ち込んでいるのが、大学時代から続けているインラインホッケーです。氷上で競うアイスホッケーとは違い、インラインスケートを履き地表で競うホッケーで、私は女子日本代表選手として海外遠征

にも参加しています。通常の練習は土日に行っていますが、大きな試合の前には平日の活動もあり、職場の皆さんにご理解とご協力をいただき、仕事と両立させています。おかげで昨年度の日本女子チームは、国際大会で銀メダルを獲得できました。激しいスポーツなので、時には怪我をすることもありますが、仕事への意欲にもつながる充実感をもたらしてくれます。

営業所は新規顧客の開拓を強化しており、私も「どんなオーダーも断らない」をポリシーに、新たなお客様からの注文に的確に対応していく考えです。自分の携わった食材が近所のレストランなど身近なところで流通していることでも仕事のやりがいや楽しさを感じますし、今後はさらに商品知識を深めて、お客様に提案できるようになりたいです。



東京営業部  
営業事務担当

関根 美絵



ヨコレイくん

## タイヨコレイ設立25周年記念パーティー

平成27年2月18日、タイ国バンコクのフォーシーズンズホテルバンコクにて、タイヨコレイ設立25周年記念パーティーを開催しました。

タイヨコレイは日本へ豊富な水産資源を輸出するため、タイ国政府投資委員会の奨励事業の認可を受けて平成元年に設立されました。平成27年7月には同国5拠点目となる「バンパコン第2物流センター(仮称)」が竣工予定で、現在の同国トップシェアの座はさらに確固たるものとなります。

また式典に先立ち、当社社長からタイ王室財団への寄付金250万バーツが、同国への感謝と友好の証として贈呈されました。タイヨコレイは今後も両国間の橋渡し役として、タイ国内のお客様のニーズに応えるとともにグローバルビジネスの拡大に取り組んでいきます。



## 株主還元方針

### ■ 配当方針

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の実施を重要な経営課題の一つとして認識し、安定的な配当を継続して行うことを基本方針としています。企業価値向上に必要な設備・IT投資等を勘案しつつ、配当性向40%以上を維持していくことを目標としています。

1株当たり年間配当金  
**20円** (中間配当金 10円)

### ■ 株主優待

当社は、株主の皆さまからのご支援に対する感謝とヨコレイグループの事業内容をご理解いただくため、年1回、ヨコレイグループ取扱商品を以下の基準でお届けいたします。

**対象株主** 毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された1,000株以上保有の株主さま

**実施時期** 11月下旬から発送を予定しています。

### ご参考 (平成26年9月期優待内容)

- (1) 1,000株以上~3,000株未満 保有の株主さま  
「鮭切身詰め合わせ」 鮭切身(約1,000g)
- (2) 3,000株以上 保有の株主さま  
「北海道産のホタテ・いくらセット」 いくら醤油漬(500g)、生食用ホタテ貝柱(1,000g)



## 株主メモ

事業年度	10月1日より翌年9月30日まで
定時株主総会	12月 定時株主総会の議決権 9月30日
基準日	剰余金の期末配当 9月30日
	剰余金の中間配当 3月31日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告した日
	電子公告
公告の方法	※電子公告は当社ホームページに掲載します。なお、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。 <a href="http://www.yokorei.co.jp/investors/investors/electronic-public-notice/">http://www.yokorei.co.jp/investors/investors/electronic-public-notice/</a>
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所(第1部)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話: 0120-232-711 (フリーダイヤル)

### (ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページご紹介

皆さまが知りたい情報を探しやすく、見やすいホームページになるようリニューアルしました。

▶ <http://www.yokorei.co.jp/>

ヨコレイのホームページでは当社の最新ニュースや事業紹介に加え、IR情報が一目でわかるIRニュースや財務ハイライトなど、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるよう、様々なコンテンツを掲載しております。

また、食の安全・安心や環境、社会貢献活動などのCSRの取り組みをご紹介します。

ヨコレイでは、今後もさらにわかりやすく、充実したホームページを目指してまいります。



TOPページ



IRページ